



勤務先 レワード株式会社「南区新橋町」

# はままっ で Work Life はたらく



※Zutto:進学も就職もずっと地元

浜松にはどんなシゴトがあって、先輩たちは、なぜその職業を選んだのか。一度は浜松を離れ、就職のために戻った人。浜松に来て、浜松を選んだ人。ずっと浜松で生活することを選んだ人。浜松で暮らし、いま働いている先輩の仕事内容や働き方、ライフスタイルをインタビュー取材しました。

生産部門の正社員の平均年齢は28歳。20代の若手社員が中核となって会社を引っ張っている。

## 裁断

引馬丈瑠さん [19]  
ひくま たける



**出身地** 浜松市中区 **出身高校** 浜松商業高校 硬式野球部(センターとピッチャー)  
**■この仕事を選んだ理由** / 知人がレワードで働いていたのと、シニア、高校とユニフォームがレワード製で馴染みがあったから。**■休日は?** / ドライブで遠出。**■今後の目標** / どの工程でも任せてもらえるようなオールラウンドプレイヤーになること。プライベートではボウリングのスコア230超え。



1枚ごとに仕様が異なるオーダーメイド商品は、同時に3~4台のミシンを操るため、座らず立ったまま作業する。入社するまでミシンの経験はなかったが、手慣れた様子でパーツを縫って形にしていくなか、勤大さん。

## 縫製

鈴木勘大さん [18]  
すずき かんた



**出身地** 浜松市浜北区 **出身高校** 浜北西高校 硬式野球部(サード)  
**■くじけそうになるとき** / 甲子園シーズン直前は、短納期の注文が混み合います。難しい仕様のもので、いかに短時間でクオリティ高く縫い上げるかを考えますが、追い付かない状態になるとちょっとくじけそう。**■休日は?** / 洋服を買いにアウトレットへ。**■今後の目標** / 早いうちに出世したい!

## 生地染色

宇佐美直登さん [19]  
うさみ なおと



**出身地** 浜松市北区 **出身高校** 浜名高校 硬式野球部(セカンド)  
**■くじけそうになるとき** / 先輩が優しいので、今のところはないです。野球部で鍛えたタフなハートと体力のおかげですかね。**■今後の目標** / 若手リーダーとして活躍したい。**■高校2年生にアドバイス** / 就職か進学かで迷ったけれど、自分は勉強より早く稼ぐことを選んでよかったと思う。

## 営業

山田唯斗さん [19]  
やまだ ゆいと



**出身地** 浜松市中区 **出身高校** 浜松商業高校 硬式野球部(キャッチャー)  
**■この仕事を選んだ理由** / 小学校からずっと野球をやっている、将来は野球に関わる仕事に就きたいと思っていたから。**■仕事の内容** / これから全国に出張してスポーツ用品店や学校に営業活動をしていきます。**■やりがいを感じる場所** / 知っている高校から注文がくるとうれしくなること。

## 刺繍

鈴木駿介さん [19]  
すずき しゅんすけ



**出身地** 浜松市西区 **出身高校** 浜松城北工業 バスケットボール部  
**■仕事の内容** / 帽子やユニフォームのロゴ刺繍など。仕上げ作業なので失敗できない。**■就職してわかったこと** / 経験はまったくなかったが、意外とチクタクしている時間が楽しい。自分は女子力が高い方だと思う。**■高校時代にしてあげばよかったと思うこと** / 機械保全などの資格取得。



ユニフォームの柄を染め付けた大きな一枚の布を、1着ずつ最先端の裁断機が自動裁断する。



社内の展示室には、レワードから送り出された全国の強豪校のユニフォームが並ぶ。

## 01 | 野球ユニフォームメーカー

# “協力”打線でつなぐ熱い思い 高校球児に届け!

**昼** ご飯をさっさと食べ終え、グローブとボールを持って外へ駆け出す。ここでは元高校球児たちのキャッチボール風景が日常だ。「甲子園出場に間に合わせて」「明日までに1着だけ」など少量短納期のオーダーに答えられるのが大きな強み。生地を染めて裁断し、縫製して刺繍を施すまでの全てを浜松の工場で行っているから成せる技だ。昼休みに共に汗を流したレワードナインは、自分の持ち場に戻って目の前の工程に神経を注ぐ。「注文の翌日に出荷」ともなると、スムーズな連携プレーがものをいう。そのユニフォームを着てプレーする球児に、今日も熱いエールを送っている。



## 天竜の森を守り、 未来へ継ぐ

なたとのこざりが奥田さんの仕事道具。腰には自分の存在を周囲に知らせる小さな鈴を付ける。

### 03 森林の調査



#### 森林の調査

奥田未来さん [25]  
おくだ みき



出身地 静岡市 出身高校 静岡農業高校  
勤務先 天竜森林組合 [天竜区二俣町]

■この仕事を選んだ理由／幼い頃から山間部にある親戚の茶畑で手伝いをしていて、山に入るのが好きだったから。■就職までの経緯／中学生の頃には将来農業がしたいと考え、高校は農業高校に進学。専門的な勉強を進めるうちに、お茶や野菜より樹木に強い関心があると気づいて農林大学校林業科へ。修了後に就職。■やりがいを感じる時／うっそうとしていた山に人の手が入り、森林に光が差し込んだとき。■くじけそうになること／組合で森林整備をした山林が、大雨などによる災害で被害を受けたとき。■休日とは？／鴨が好きで、見つけては眺め、絵に描いています。■年取／樹齢130年の天竜ヒノキ1本分ぐらいです(笑)。■高校時代にイメージしていた将来の自分／2年生までは「農業」。3年生になって「林業」に変わった。■高校時代にしておけばよかったと思うこと／数学。見積もりや調査で数字を扱うことが多いので。それに経営学。山の経営は想像以上に難しいから。■高校2年生へ／やりたい、なりたと思ったことにまずは一生懸命突き進んでみると、道が開けます。



「治一郎」の店舗は、浜松だけでなく仙台から福岡に至る各地に全24店舗を構える。

### 02 商品企画・販売

## お菓子をを通して 思いをカタチに

### 採

れたてつやつやの日向夏がたくさん並ぶイメージ」というアイデアをもとに堀野枝里さんの商品企画で、今年は夏限定商品の「日向夏ゼリー」がショールームの上に山積みされた。彼女の売り場への積極的なアプローチが実を結び、見事、夏が終わらぬうちに完売した。

堀野さんは2010年の入社当時「ららぽーと磐田」の店舗で販売を担当。その後店長に抜擢され、それから1年も経たぬうちに本社で企画推進を任されるようになった。入社9年目の現在は女性5人の企



#### 商品の企画・開発、プロモーション

堀野 枝里さん [31]  
ほりの えり

出身高校 浜松湖東高校  
勤務先 株式会社ヤタロー [東区丸塚町]

■この仕事を選んだ理由／管理栄養士の資格を生かせる仕事がしたくて、病院や学校内の食堂施設を運営しているヤタローに興味を持ちました。実際に配属されたのは販売でしたが、これまで勉強したことがいろんな面で生かされています。■就職までの経緯／高校卒業後、名古屋芸芸大学の管理栄養学部に進学し、管理栄養士の資格を取得。卒業後、ヤタローに就職しました。■くじけそうになるとき／自分の企画した商品が売れなくて在庫が山積みになったとき。■高校時代にイメージしていた将来の自分／人並みに働いて、結婚して、今頃は寿退社(笑)。■大人になって思うこと／大学時代に名古屋に住んでみて、自分はやっぱり浜松がすごく好きなんだと改めて感じました。外から客観的に地元を見つめることって大事だと思ってます。■高校2年生へ／高校も大学も自分で選んで入学した場所だから、そこでの出会いは偶然でなく必然。自分の直感を信じて、何にでもチャレンジして。素敵、面白いと思えるものや事に敏感であってほしいです。

画推進チームのチーフとして、商品の企画やパッケージのアイデア、新店舗のオープン準備、売り場の見せ方など、商品を企画して販売するまでの仕事をトータルで担当している。「何度訪れてもワクワクするお店、贈る人も贈られる人も笑顔になるおいしいスイーツを提供していきたいです。商品企画と販売の仕事は、自分のアイデアが形になっていく面白さがあります。自分へのご褒美や大切な方への贈り物として、お客さまの思いをカタチにするお手伝いができるとき、何よりもうれしいです」

### 船

明ダム近くの組合事務所から山道をくねくねと車で約15分。現場に到着すると、奥田さんは手ぬぐいを頭に巻いてヘルメットをかぶり、靴を地下足袋に履き替えた。

20歳で入社して5年目。初めの半年はチェーンソーを手に現場で伐採の仕事をしてきた。今は伐採作業が始まる前の段階で山に入り、現状を調査して提案書を作る仕事だ。「地図を片手に山を歩いて、山林の状態を観察します。立ち木と立ち木の葉の混み合い具合を見るんです。どの木を伐採すればどのくらいの光が差し込むかを判断します。下草刈り、枝打ち、伐採、搬出などどれだけの作業が必要で、伐採による木材から得られる利益はどのくらい、県

や市からの補助金がどれだけ活用できるかなどを提案書にまとめて山の地主に提出します」

浜松市は面積の65%が森林地帯。天竜森林組合は旧天竜市の山林を管轄する。美しく整備された林業地として「天竜美林」と呼ばれているの

「山は一度手入れをしたら、次はだいたい10年後。50年、百年先の森の姿を想像して植林や間伐をしています。私たちが見ることはできないずっと先、未来のことです」  
森林を健全に保つことは、人々の暮らしを災害から守ることもつながっている。手入れ前の林の中をずんずんと進んでいく奥田さんの姿がたくましく見えた。